

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市洪川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

雷門
見ると
東京
スライ
ン
ド
の
モ
ン
ス
ト
あり



東京は来年は変わる日本人の
せかせか度
はかわらない

「風の谷のナウシカ」
 ナウシカという個性ゆたかな少女の創出は、これは、この映画の成功はなかった。ナウシカは虫と語り、風を戯れて自由に空を飛ぶという、しむもの、命を救うためには捨てる身になる。やさしさというものが、時には死をも恐れぬ勇気に変えられるけれども、なにかいこと、少女は行動を止めた。W・H・ハドソンは緑の館を著した。
 英文学者、これほど幻想にふれた創造はないといわれた、森の少女リマを創り出したことで、この



▲浅草雷門

作品は不朽の佳作に作りかた。リマは南米の樹木に住む少女で、風のまよふにはなついている。
 ナウシカもリマも共に木や鳥や虫と共生する自然だ。産業革命が恐ろしい勢いで緑を破壊していった当時の英国にあつて、バムンリマに思いを託し、リマの死を痛くすることで自然破壊の残酷さを告発した。
 日本のアニメ作家宮崎駿は、「産業文明の崩壊後千年」として地球を想定し、ナウシカという少女を創り出した。



産業文明時代、人類は有毒物質で地球を汚し続けた。汚された大地の終りか、人類を滅ぼすとして、このナウシカの猫舞台だ。



日本橋松栄点と銀座の有楽町へ



地球を辱らして人類を苦しめてきたのは、人類自身のおごりや敵意や権しみのため。リマとナウシカ、主人公は共通するのは、女性原理の主張と英米の威光である。

